

令和2年度

定期監査（静岡市井川財産区）
結果報告書

令和3年3月30日

静岡市監査委員

同

同

同

村松 眞

白鳥 三和子

山根 田鶴子

山本 彰彦

1 監査の基準

この監査は、静岡市監査基準（令和2年静岡市監査委員告示第1号。以下「監査基準」という。）に基づいて実施した。

2 監査の種類

(1) 監査の名称

令和2年度定期監査（静岡市井川財産区）

(2) 根拠法令

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項

3 監査の対象

原則として、令和2年4月1日から令和2年10月31日までに執行された事務事業等を対象に監査を実施した。

4 監査の着眼点

(1) 予算の執行は計画的かつ効率的に行われているか。

(2) 事務処理で法令等に違反するものはないか。

(3) 事務事業の執行に当たっては、住民の福祉増進、市民負担の軽減、市民サービスの向上に努めているか。

(4) その他事務の執行が適正かつ的確に行われているか。

5 監査の主な実施内容

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びに事務の執行が適正に行われているかについて、正確性、合規性、3E（経済性、効率性、有効性）の観点から、関係書類の調査、関係職員からの説明聴取等の方法により監査を実施した。

6 監査の実施場所及び日程

監査の区分	実施場所	日程
予備監査	監査委員事務局執務室など	令和2年11月8日から 令和3年3月30日まで

7 監査の結果

(1) 監査基準第19条第2項又は第3項の規定に基づく記載

1から6までのとおり監査した限り、対象となった事務が重要な点において、法令に適合し、正確に行われ、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めていることが認められた。

(2) 監査基準第19条第4項の規定に基づく記載

本件の監査においては、3件の指摘事項があったため、是正・改善を求めた。また、このほかに1件の指導事項があった。

【指摘事項】

① 納入通知書の発行遅れについて・・・【合規性の観点】

井川財産区の土地貸付収入について、当該貸付けに係る土地賃貸借契約書には貸付料の納付期限は「納付書発行から30日以内」と規定されているが、令和2年4月1日が納入通知書の起票日（調定日）とされていたにもかかわらず、納期限が同年7月31日となっていたため所管課に確認したところ、納入通知書の起票日は実際には同年6月3日であったが、日付を遡って同年4月1日付けで起票し、納付期限を同年7月31日としていたことが判明した。

これは、本来4月当初に行うべき手続を怠っていたことに加え、納付期限を「納付書発行から30日以内」と定める契約書の存在自体を認識せずに納付期限を設定したことが原因となったものである。

なお、井川財産区の土地貸付収入については、令和元年度の井川財産区に対する定期監査において土地貸付料収入の調定事務が失念されていたことを指摘し、これに対する措置として「今後の予防措置として、直ちに財産区有地の有償貸付一覧のチェックリストを作成して納付書発行日、納期限、納入日を記録するとともに、職場研修に係る全職員に周知し、事務の遺漏や遅延等がないよう共有化を進めた」と報告されていたにもかかわらず、今回も同様の不適切な事務処理が行われていたことになり、報告された措置が有効に機能していなかったことを示すものである。今後、再度不適切な事務処理が行われることがないよう実効性のある措置を講じられたい。

② 委託業務における支出負担行為伺いに添付する書類の誤りについて・・・【合規性の観点】

区有地植林等委託業務において、事業決裁と財務会計システム上の支出負担行為伺いにそれぞれ添付されていた積算書及び予定価格調書の内容が異なっていたため所管課に確認したところ、積算額の修正に伴い変更及び差替えを行ったが、支出負担行為伺いには差替え前の積算書及び予定価格調書を添付してしまったことが判明した。

事業決裁には正しい書類が添付されていたとはいえ、支出負担行為伺いに添付されている書類は、支払を行う際に正確性・妥当性を確認するために必要なものであることを再認識するべきである。

③ 見積執行時の予定価格調書の差替えについて・・・【合規性の観点】

区有地植林等委託業務において、事業決裁に添付されている予定価格調書と財務会計システムの支出負担行為伺いに添付されている予定価格調書の内容が異なっていたため所管課に確認したところ、積算額の修正があつたにもかかわらず修正前の積算額で予定価格調書を作成してしまい、見積執行において開封した際に誤りに気付いたため、予定価格調書を差し替えていたことが判明した。

見積参加者の見積額は修正前及び修正後のいずれの予定価格をとともに下回っていたため、結果的に予定価格調書の差替えによる見積結果への影響はなかったとはいえ、一度決定した予定価格調書を開封後に差し替える行為は、見積執行の手順を無視した

ものであり、予定価格の秘匿性及び見積執行の公平性・透明性の確保の観点から不適切な行為である。

用語説明

① 指摘事項

法令、条例、規則等に違反している事項又は経済性、効率性若しくは有効性の観点から改善を要する事項など、指摘すべき事項として、地方自治法の規定に基づき監査結果報告書に記載し、公表するものである。

なお、経済性、効率性及び有効性の意味は以下のとおりであり、これらを「3E」と総称する。

- ・経済性 (Economy)・・・より少ない費用で実施できないか。
- ・効率性 (Efficiency)・・・同じ費用で、より大きな効果は得られないか。
- ・有効性 (Effectiveness)・・・目的を達成し、効果を上げているか。

② 指導事項

上記①以外で、軽微な誤りと認められる事項等である。

【参考】

静岡市監査基準（令和2年静岡市監査委員告示第1号）（抄）

（監査報告等の内容）

第19条 監査報告等には、原則として次に掲げる事項を記載するものとする。

第1号から第8号まで 略

2 前項第7号の監査等の結果には、次の各号に掲げる監査等の種類に応じて、重要な点において当該各号に定める事項が認められる場合にはその旨その他監査委員が必要と認める事項を記載するものとする。

(1) 財務監査 前項第1号から第6号までの記載事項のとおり監査した限りにおいて、監査の対象となった事務が法令に適合し、正確に行われ、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めていること。

(2) 行政監査 前項第1号から第6号までの記載事項のとおり監査した限りにおいて、監査の対象となった事務が法令に適合し、正確に行われ、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めていること。

第3号から第8号まで 略

3 第1項第7号の監査等の結果には、前項各号に掲げる監査等の種類に応じて、重要な点において当該各号に定める事項が認められない場合にはその旨その他監査委員が必要と認める事項を記載するものとする。

4 監査委員は、是正又は改善が必要である事項が認められる場合は、その内容を監査等の結果に記載するとともに、必要に応じて監査等の実施過程で明らかとなった当該事項の原因等を記載するよう努めるものとする。

第5項以降 略